



高崎市立北小学校

PTA・地域と連携した環境づくり



本校は明治35年に開校し、創立121年を迎える歴史のある学校です。高崎市の中心街に位置し、児童数254人、13学級規模であり、平成18年度からコミュニティ・スクールの指定を受け、地域と一体となった特色ある学校づくりを進めています。

北小環境教育全体計画における指導の方針

- 児童にとって身近で具体的な環境にかかわる活動や自然とのふれあいを通じて得た体験等を取り入れた問題解決的な学習を展開する。
 - 各教科、領域等との指導の関連を図る。
 - 実践活動については、これまでの活動を環境教育の視点から見直し、児童が身近な事象について触れることのできる体験的な活動を工夫する。
- 以上のような指導方針にのっとり、環境活動を行っています。

◎みんなで協力 「自分たちでできるエコ」

(全校児童の取組)

- 電気の使用量を減らします。
 - ・使っていない教室・トイレ・廊下の照明はつけない。
 - ・エアコン使用開始時の教室気温を学校全体で統一し、守る。



〔牛乳パックを開いてリサイクル
(今年度はコロナのため未実施)〕

- 水を大事に使います。
 - ・水を出しっぱなしにしないで、水の無駄遣いをしないようにする。
 - ・歯を磨くときは、コップを使う。
 - ・バケツを使ってぞうきんを洗う。



〔清掃終了後
ゴミを分別して回収〕

- ゴみを減らし、リサイクル活動に努めます。
 - ・ゴミを「紙ゴミ」「プラスチックビニール・ゴムなど」に分別して専用ゴミ箱に捨てる。
 - ・牛乳パックを洗ってリサイクルする(今年度は未実施)

◎リサイクルしよう 「エコキャップ運動」

(全校児童の取組)

- 整備委員が中心になって、児童や保護者に呼びかけ、ペットボトルキャップの回収をしています。集めたキャップの売却代金はJCV日本委員会へ寄付され、いろいろな国の子どもたちのワクチン等の費用に利用されています。



〔ポスターを活用し、キャップ
の洗浄を呼びかける。〕



〔整備委員による
ペットボトル分別作業〕

◎美しい学校に

「花いっぱい運動」

(学年・環境委員会の取組)

- 環境委員会が中心となり、学校いっばいに花を咲かせる、「花いっぱい運動」を行っています。



◎ゴミ袋軽減への取り組み

「ごみ収集場所の設置」

(整備委員会の取組)

- 掃除が終わった後、整備委員会でゴミの収集を行っています。小さくつぶしたゴミ袋をひとつの袋にしてゴミステーションに集めています。



◎みんなで綺麗な学校に

「クリーン作戦」

(全校児童の取組)

- 全校児童の行うクリーン作戦。そして、PTAの協力で行われる学校環境整備活動。どちらも綺麗な学校を目指してみんなで汗を流しています。



◎気持ちいいな 校庭の緑化

「校庭の芝生化運動」

(PTAクリーン事業の取組)

- 校庭の緑化を目指して、トラックの回りに芝生を育てています。芝生の養生は、「えのきクラブ(保護者)」が中心で行っています。

